

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 徳 性	D. 高い知性、 善美な情操、高 雅な徳性の総合						
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2					
21UARC2002	建 築 英 語 IV	2	国際的に活躍できる建築家として必要な、英語で自由にコミュニケーションを行うことができる基礎的能力を習得するために、建築設計にかかわる基本的な語彙を増やすとともに、読む・聞く・話す・書くといった4技能をバランスよく学習することを目的とする。	英語を自由に読み、書き、聞き、話すことができる基礎的能力を向上させるとともに、建築設計にかかわる基本的な語彙を身につける。これにより、英語を使って自らの主張を提案し、合意を形成するために必要な基礎的能力をより向上させる。	◎													
21UARC1003	建 築 数 学	1	解析学、線形代数学、確率・統計学の初歩を、建築学の諸分野への応用を前提に学ぶ。これを通して、建築にかかわる人間生活や社会、自然における諸現象を数量的に理解し、記述する手法を理解することを目的とする。	建築を学ぶ上で重要な数学の基礎を習得し、向上させるとともに、建築学における様々な問題解決に活用するための基礎的能力を培う。	◎													
21UARC1004	建 築 物 理	1	力学を中心に、振動、光、熱も含めて、建築の安全性や快適性に影響する自然現象の普遍的な法則を学ぶ。これを通して、建築を取り巻く自然現象を数量的に理解し、記述する手法を理解することを目的とする。	建築を学ぶ上で重要な物理学の基礎を習得し、向上させるとともに、建築学における様々な問題解決に活用するための基礎的能力を培う。	◎													
21UARC1201	空間表現演習 I	1	多様な材料の特性を把握しつつ、「美」の視点から、比較的単純な空間を構成する演習を行う。また、実際の建築物の実測と図面化を通して設計製図の基礎を学ぶ。これらの成果を総合し、簡単な建築空間を設計することを目的とする。	主に「美」の視点から、真に人間的な住環境を創生するために必要な基礎的造形能力と豊かな感性を培う。							◎							○
21UARC1202	空間表現演習 II	1	多様な材料の特性を把握しつつ、「美」や「強」の視点から、より複雑な空間を構成する演習を行う。また、実際の建築物のスケッチを通して透視図の基礎を学ぶ。最後にこれまで学んできた空間構成手法を総合し、小規模な建築空間を設計することを目的とする。	主に「美」の視点から、真に人間的な住環境を創生するために必要な基礎的造形能力と豊かな感性をより向上させる。							◎							○
21UARC2211	建築設計演習 I	2	建築設計の基礎を理解する上で重要な、木造および鉄筋コンクリート造による建築設計を学ぶことを目的とする。そのため、人間の基本的な行為に必要な空間を木造により設計する演習と、「美」を出発点とした小規模建築空間を鉄筋コンクリート造により設計する演習を行う。	人間の基本的な行為や知覚に根ざした小規模建築の設計の理解を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を培う。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○			
21UARC2212	建築設計演習 II	2	機能と空間構成の関係を理解するとともに、一人ひとりの内面を心像として具体的な建築空間として表現する基礎的手法を学ぶことを目的とする。そのため、幼児のための空間の構成、芸術的空間の制作、美しい風景の創造に関する演習を行う。	人間の行動や内面に根ざした小規模建築の設計への理解を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を培う。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
21UARC4212	卒業研究	4	3年半で修得した「真」「善」「美」の総合として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、その成果を卒業論文、卒業設計として総合化してプレゼンテーションする。これにより、大学院においてより高度な職能を身につけるために、あるいは建築家、専門家として自律的に行動し、活躍するために必要な基礎的能力を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を習得する。また真に人間的な住環境形成のために、継続的に学習できる能力を習得し、自律的活動ができる職能人としての素養を十分に理解する。	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○
21UARC1321	現代建築論	1	「強」「用」「美」、および「真」「善」「美」の関係を踏まえ、建築家の職能、倫理と社会との関係を理解するとともに、近代建築の誕生から現代建築の成立に至るまで、20世紀の建築が歩んできた道程を学ぶ。これらを通して、これからの現代建築や建築家が求められるものについて理解することを目的とする。	現代建築と歴史、文化、国際社会、地球環境との関わりや、現代社会の問題点を理解する能力を培う。これにより、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合し、自律的活動ができる職能人としての素養を理解する。						◎	◎	○	
21UARC2321	建築設計計画Ⅰ	2	主に機能性や防災安全性、地球環境問題の観点から、建築の設計や計画に関わる基礎知識を習得することを目的とする。そのため人間行動、地球環境と建築の設計、計画の基礎的な関係を、人文・社会科学や数理学を活用しながら学ぶ。	建築の機能性や防災安全性、地球環境問題、およびこれらと人文・社会科学や数理学との関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「用」その他の観点から、人間行動にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。		○	◎			○			
21UARC2322	建築設計計画Ⅱ	2	主に機能性や歴史、文化、地球環境問題の観点から、建築の設計や計画に関わる基礎知識を習得することを目的とする。そのため人間行動、地球環境と建築の設計、計画の基礎的な関係を、人文・社会科学や数理学を活用しながら学ぶ。	建築の機能性、歴史的、文化的価値、地球環境問題、およびこれらと人文・社会科学や数理学との関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「用」その他の観点から、あらゆる人にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。							◎		
21UARC3321	建築設計計画Ⅲ	3	主に機能性や防災安全性、歴史、文化、地球環境問題の観点から、建築の設計や計画に関わる知識を習得することを目的とする。そのため集団行動、地球環境と建築の設計、計画の関係を、人文・社会科学や数理学を活用しながら学ぶ。	建築の機能性や防災安全性、歴史的、文化的価値、地球環境問題、およびこれらと人文・社会科学や数理学との関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「用」その他の観点から、個人および集団にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。		○	◎				◎		
21UARC3322	建築設計計画Ⅳ	3	主に機能性や防災安全性、地球環境問題や国家、地域社会の観点から、建築の設計や計画に関わる知識を習得することを目的とする。そのため、集団行動、地球環境と建築の設計、計画の関係を、人文・社会科学や数理学を活用しながら学ぶ。	建築の機能性や防災安全性、地球環境、国家、地域社会との関わり、およびこれらと人文・社会科学や数理学との関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「用」その他の観点から、人間と社会にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。		○	◎					○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号															
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合								
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2							
21UARC1323	日本建築史	1	日本建築の歴史と、伝統的な様式、空間構成、構造、意匠、材料などを学ぶとともに、その歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、日本の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目的とする。	日本建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。											◎					
21UARC1324	世界建築史	1	西洋建築を中心に、その歴史と空間構成、その背景にある建築思想を学ぶとともに、その歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、地域の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目的とする。	西洋を中心とした世界の建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。												◎				
21UARC2323	近代建築史	2	欧米と日本を中心に、近代建築の誕生とその歴史、代表的な建築家やその制作、思惟を学ぶとともに、近代建築がもつ歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、近現代の建築を考察し、新たな建築を創生する能力を育むことを目的とする。	近代における国内外の建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。													◎			
21UARC2331	建築環境工学Ⅰ	2	建築環境工学における光環境、日射環境、空気環境等の基本事項を学ぶ。また、建築設計における光環境、日射環境、空気環境等にかかわる基本的課題を、空間構成によって解決する能力を身につけることを目的とする。	建築の機能性や快適性と、光環境、日射環境、空気環境等の関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。													◎	○	○	
21UARC2332	建築環境工学Ⅱ	2	建築環境工学における音環境、熱環境、湿気環境等の基本事項を学ぶ。また、建築設計における音環境、熱環境、湿気環境等にかかわる基本的課題を、空間構成によって解決する能力を身につけることを目的とする。	建築の機能性や快適性と、音環境、熱環境、湿気環境等の関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。													◎	○	○	
21UARC2334	建築環境工学実験	2	建築環境工学の基礎となる光、音、熱、湿気、日射、日照等に関する様々な現象の実測を行い、その基礎的現象を理解する。これらの環境の理解を踏まえた建築設計ができるようになることを目的とする。	建築の機能性や快適性と、様々な建築環境との関係を、実験を通してより具体的に理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。													◎		○	
21UARC3332	建築環境工学Ⅲ	3	建築の機能性、快適性や地球環境問題の観点から、建築環境工学や建築設備における様々な環境共生手法を学ぶ。これを通して、新しい環境共生技術も活用しつつ、環境との共生の重要性も踏まえた建築設計ができるようになることを目的とする。	建築の機能性、快適性と地球環境問題との関わりを理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。														◎	○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 徳 性	D. 高い知性、 善美な情操、高 雅な徳性の総合							
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2						
21UARC3341	建築設備Ⅰ	3	建築設備や音環境の基礎事項を学ぶ。具体的には、空調設備、衛生設備、電気設備等の設備システムの基礎や、設備設計にかかわる技術者倫理、および騒音防止計画、音響設計の基礎を習得し、これらの理解を踏まえた建築設計ができるようになることを目的とする。	建築の機能性、快適性を確保するために重要な、建築設備、音響設計、および技術者倫理の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。				◎					○	○					
21UARC4341	建築設備Ⅱ	4	設備設計の基礎事項を学ぶ。具体的には、空調設備、衛生設備、照明設備を含む電気設備等の設備設計の基礎を習得し、これらの理解を踏まえた建築設計ができるようになることを目的とする。	建築の機能性、快適性を確保するために重要な、設備設計の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力をより向上させる。				◎					○						
21UARC2351	建築構造力学Ⅰ	2	建築物の安全性を確保する上で重要な、静定構造力学の基礎を学ぶ。具体的には、力とモーメントの釣合いの理解を踏まえ、様々な荷重によって静定構造物にどのような力が働くかを理解することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、静定構造力学の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。			◎												
21UARC2352	建築構造力学Ⅱ	2	建築物の安全性を確保する上で重要な、不静定構造力学等の基礎を学ぶ。具体的には、構造材料や部材断面の力学的性質を理解した上で、様々な荷重によって不静定構造物にどのような力が働き、どのような挙動をするのかを理解することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、不静定構造力学の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。			◎												
21UARC4351	地盤・振動論	4	建築物の安全性を確保する上で重要な、地盤や土の諸特性を理解し、これらを踏まえた基礎設計の概要について学ぶ。また、地震等の外乱によって生じる建築物の振動の諸特性を理解し、これを踏まえた制振構造や免震構造の基本的な考え方についても学ぶ。	建築の安全性を確保するために重要な、地盤や振動、および基礎設計、制振、免震設計の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。			◎												
21UARC1361	建築一般構造Ⅰ	1	建物に作用する様々な荷重や、建築をかたちづくる一般的な構法の概要等、建築一般構造の基礎知識について学習し、建築構法と構造的安全性の関係を学ぶ。また屋根、壁、床、階段等多くの建築物に共通の構法や和室の造作等を学び、建築構法と技術、歴史、文化の関係も理解することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、建築一般構造の基礎を理解する。また建築構法と技術との関係や、これらがもつ歴史的、文化的価値を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。			◎						○	○					
21UARC3361	建築一般構造Ⅱ	3	建築物の構造システムがもつ一般的な力学的特性を学び、構造安全性を確保する上での構法の重要性を理解する。また建築設計において重要な取まりについて、その安全性、施工性、保守性、意匠性も含めて学ぶことを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造部材、非構造部材の構法の基礎を理解する。またこれらの構法がもつ歴史的、文化的価値も理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。			◎						○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合						
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2					
21UARC3362	建築各種構造	3	現代建築の最も主要な構造システムである鉄筋コンクリート造および鉄骨造について、これらの建造物の成立原理や力学的特性、および許容応力度設計による各種部材の基本的な設計手法等について学ぶことを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造設計の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎												
21UARC3371	建築材料	3	現在最も代表的な建築構造材料である木材、コンクリート、鋼を対象とし、これらが有する基礎的特性と、建築構造との関連を学ぶことを目的とする。また、これらの材料によって生み出される木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造建築の安全性を確保するための、部材設計法の基礎等も学ぶ。	建築の安全性を確保するために重要な、構造材料の基礎と技術者倫理を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎						○						
21UARC3373	建築構造材料実験	3	現在最も代表的な建築構造材料である木材、コンクリート、鋼を対象とし、これらが有する基礎的特性と、これらの材料を用いた木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造建築の力学的挙動について、実験を通して学ぶことを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造材料の基礎を、実験を通してより具体的に理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎											○	
21UARC3382	建築生産	3	企画から維持保全に至る建築生産のプロセス全体の基礎的事項と、各プロセスにおいて設計者、施工者が果たすべき役割を学ぶ。また、各プロセスにおいて技術者に求められる倫理観や幅広い視野、マネジメントへの認識と公正な判断力を養うことを目的とする。	コスト、スケジュールなど、建築生産プロセスにおける様々な制約条件を理解するとともに、様々な専門家、技術者との共同の重要性を理解する。また自律的活動ができる職能人として、適切な設計・施工計画を進めることができる基礎的能力を培う。					◎			○						◎
21UARC4381	建築施工	4	契約・積算から施工計画の立案、土工事から躯体、仕上げ、設備工事、アフターケアに至る一連のフローの中で、施工管理者の役割や、建築施工に関する基礎知識を学ぶ。また企画・設計と施工の関連、および施工後の建物の維持管理に亘る幅広い知識の学習も目的とする。	品質、コスト、スケジュール、安全など、建築の施工における様々な制約条件と管理について理解する。また自律的活動ができる職能人として、適切な設計・施工計画を進めることができる基礎的能力を培う。					◎			○						
21UARC1392	建築法規 I	1	建築物に関する基本法令である建築基準法について、その役割、性格、構成、内容等の基本的事項を、国の法制度との関わりの中で正しく学ぶことを目的とする。また単体的および集団的に建築物に求められている比較的基础的な機能、性能等を具体的に学ぶ。	建築基準法の役割とその初歩的な規定の内容を理解する。その意義を踏まえて最適な空間を設計することにより、社会的義務と責任を重んじ、自律的活動ができる職能人となることを目指す。					○			◎						
21UARC3391	建築法規 II	3	建築物に関する基本法令である建築基準法とその関係法令について、国の法制度との関わりの中でより深く理解することを目的とする。単体的および集団的に建築物に求められている比較的高度な機能、性能等を具体的に学ぶ。	建築基準法および関係法令の基礎的内容を理解する。その意義を踏まえて最適な空間を設計することにより、社会的義務と責任を重んじ、自律的活動ができる職能人となることを目指す。					○			◎						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 徳 性	D. 高い知性、 善美な情操、高 雅な徳性の総合				
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2			
21UARC2302	都市計画・デザイン論	2	都市の歴史や都市計画にかかわる思想、理論、行政、歴史都市の保存計画手法等の学習を通じ、都市の計画や設計に取り組む上で必要な基礎知識と、都市がもつ歴史的、美的、文化的価値を理解し、生活空間や景観のあるべき姿を考えることを目的とする。	世界の都市の歴史、および都市計画に関する基礎的知識を習得し、都市の美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。また都市の仕組みやその問題点を理解し、自立的に行動できる職能人となるために必要な人格の形成を目指す。							◎	○				
21UARC3302	造園学	3	庭園・造園史、公園・緑地史、公園・緑地系統計画、および緑地・景観保全計画に関する基本的事項を理解するとともに、造園設計の初歩も学ぶ。造園、緑地、景観の視点から、地域の歴史、文化、地球環境の重要性を理解することを目的とする。	世界の造園の歴史、および造園計画に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値、および地球環境との関わりを理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。							◎	○				
21UARC4301	測量実習	4	建築の設計や施工において、最低限必要となる測量の基礎知識や、測量機器を使用した測量の方法、および空中写真測量、GISも含めた測量データの取扱いの基礎を、講義と実習を組み合わせることで体験的に学習することを目的とする。	測量に関する基礎的知識および周辺技術とその活用方法を身につけ、建築設計にかかわる様々な問題解決に活用することを目指す。	◎											○
21UARC1401	建築フィールドワークⅠA	1	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、1年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自立的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	1年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自立的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎					
21UARC1402	建築フィールドワークⅠB	1	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、1年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自立的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	1年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自立的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎					
21UARC2401	建築フィールドワークⅡA	2	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、2年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自立的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	2年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自立的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
21UARC2402	建築フィールドワークⅡB	2	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、2年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	2年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
21UARC3401	建築フィールドワークⅢA	3	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、3年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	3年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
21UARC3402	建築フィールドワークⅢB	3	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、3年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	3年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
21UARC4401	建築フィールドワークⅣ	4	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、4年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	4年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
21UARC2400	海外研修	2	国外の建築、町並み等を見学し、現代建築論、世界建築史、近代建築史等で学んだ知識をより具体的に学ぶ。また、スケッチの作成等を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。						◎	◎		